

さくら保険サービス通信

〒830-0016 福岡県久留米市通東町3-5杉本ビル2F

TEL 0942-37-7351 FAX 0942-37-7352

さくら保険サービスのURL <http://www.sakura-hoken.com/>

19年
6月号

あなたもわずか30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションパーパー



梅雨、台風による大雨で 起こる災害は？

■梅雨、台風の大雨は

どんな災害をもたらすか？

6月になると梅雨。梅雨前線が日本から中国大陸付近にかけて張り出してきました。それとともに長雨が続きます。また集中豪雨が発生することがあります。

梅雨が終わると続いて台風がやってくる季節になります。梅雨の長雨、集中豪雨、そして台風による大雨で土砂災害やがけ崩れ、水害が起きやすくなります。

●土砂災害の2パターン

土砂災害はすさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。

土砂災害には2パターンあります。

①土石流

山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。



②崖崩れ

山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる現象。



●水害とは

河川の流域に大雨が降った場合に水の量が急激に増大し、河川が氾濫して宅地や農地に水が流れて水没します。この現象が洪水で水害の典型的パターンです。

■土砂災害&水害情報とその予防情報は？

これら土砂災害や水害が発生する予兆を気象庁や市区町村が「警報」「予報」「避難」「河川」情報などで発令しています。

多くの方はこれらの情報がいつ、どのような時点で発令するかを知らないのが現実のようです。

そこで、今月は梅雨前線の活発化と台風にもなって発生するこれら災害情報内容について特集してみました。

あなたも **30秒** で情報通! 活用法 いろいろ **コミュニケーションペーパー**



大雨&強風現象の 種類内容を知っていますか?

■大雨現象とは?

災害が起こる原因となる大雨、強風の現象について知っておきましょう。

1. 大雨の現象(1時間雨量及び人への影響は?)

・ やや強い雨

1時間雨量: 10~20mm。ザーザーと降ります。話し声が聞き取りにくくなります。

・ 強い雨

1時間雨量: 20~30mm。どしゃ降りの雨。傘をさしていてもぬれます。

・ 激しい雨

1時間雨量: 30~50mm。バケツをひっくり返したように降ります。山崩れやがけ崩れが起こりやすくなります。

・ 非常に激しい雨

1時間雨量: 50~80mm。滝のように降り、傘は全く役に立たなくなります。

・ 猛烈な雨

1時間雨量: 80mm以上。雨による大規模な災害が発生するおそれが強いです。

■強風現象とは?

2. 強風の現象(平均風速及び人への影響)

・ やや強い風

平均風速: 10~15m/s。風に向かって歩きにくいって傘がさせないです。

・ 強い風

平均風速: 15~20m/s。風に向かって歩くことができません。小枝が折れます。

・ 非常に強い風

平均風速: 20~30m/s。車の運転は危険です。樹木が倒れブロック塀が壊れます。風で飛ばされたもので窓ガラスが割れます。屋外での行動は危険です。

・ 猛烈な風

平均風速: 30m/s以上。

屋根が飛ばされたりします。

木造住宅の全壊が始まります。



あなたも30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



気象庁が発令する 3種類の災害予防情報

気象庁が発令する災害予防情報3種類

1. 注意報

●避難行動要支援者は 早めの行動

大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときの情報が「注意報」です。それが発令されたら自治体が発表する避難準備情報に注意し、避難行動要支援者は早めの行動を心がけます。

2. 警報

●速やかに避難

重大な災害が起こるおそれのあるときに出され、該当する地域で警戒を呼びかけます。自治体が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難します。

3. 特別警報

●直ちに安全な場所へ移動
警報の発表基準をはるかに超え、数十年に一度しかないような重大な災害の危険性が高まっている場合に発表されます。直ちに安全な場所に移動する必要があります。

注意報の種類

- ①大雨注意報
- ②強風注意報
- ③洪水注意報

警報の種類

- ①大雨警報
- ②暴風警報
- ③洪水警報

特別警報の種類

- ①大雨特別警報
- ②暴風特別警報



あなたも30秒で情報通！活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



気象庁が発令する 具体的な災害予防情報

3種類の「注意報」の具体的な内容

- ①大雨注意報……大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。雨が止んでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続します。
- ②強風注意報……強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
- ③洪水注意報……河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
対象となる洪水害として河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられます。

3種類の「警報」の具体的な内容

- ①大雨警報……大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報（土砂災害）」、「大雨警報（浸水害）」または「大雨警報（土砂災害、浸水害）」のように発表します。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続します。
- ②暴風警報……暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
- ③洪水警報……河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。対象となる重大な洪水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられます。

2種類の「特別警報」の具体的な内容

- ①大雨特別警報……台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表します。大雨特別警報が発表された場合、重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれが著しく大きい状況が予想されます。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報（土砂災害）」、「大雨特別警報（浸水害）」または「大雨特別警報（土砂災害、浸水害）」のように発表します。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが著しく大きい場合には発表を継続します。
- ②暴風特別警報……数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表します。